

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
総合演習2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	1年	3月集中	中根 わたる				
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	総合領域			座学	2	15	
科目概要							
鍼灸師に必要な知識を複合的に学習し、知識の定着と応用力を身に付けるために、1年次に学んだ専門基礎・専門分野を中心とした複合課題に対し、科目を横断した学習を行う。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標		人体の正常な構造と機能を複合的に学習することで、患者の病態を的確に把握し、それに応じた施術ができ、患者のQOLを最大限高めるための幅広い能力を備えた鍼灸師となることを目指す。					
到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)		*1. 解剖学と生理学の基礎を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 2. 循環器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 3. 呼吸器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 4. 消化器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 5. 泌乳気系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 6. 内分泌系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 7. 神経系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 8. 感覚器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。 9. 運動器系の構造を理解し選択肢を提示されたら正解肢を選択できる。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学、病理学、臨床医学各論							
教科書・参考書							
教科書: 東洋療法学校協会編 解剖学 教科書: 東洋療法学校協会編 生理学							
受講上の注意							
何故ために学習をするかを常に考え、授業前読予習、授業後読復習を行い毎授業に参加する事。 疑問点などがある場合必ずメモに落とし、そのままにせずその日講うちに理解できるよう努める事。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	ホテテスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	解剖学と生理学の基礎			解剖学P2~34 生理学P2~14			
第2回	循環器系			解剖学P36~61 生理学 P16~52、278、 287			
第3回	循環器系			解剖学P36~61 生理学 P16~52、278、 287			
第4回	呼吸器系			解剖学P62~68 生理学P54~66			
第5回	消化器系			解剖学P70~88 生理学P68~90			
第6回	消化器系			解剖学P70~88 生理学P68~90			
第7回	生殖器系			解剖学P90~106 生理学 P152~163			
第8回	内分泌系			解剖学 P108~114 生理学 P130~150			
第9回	内分泌系			解剖学 P108~114 生理学 P130~150			
第10回	神経系			解剖学 P116~146 生理学 P165~216			
第11回	神経系			解剖学 P116~146 生理学 P165~216			
第12回	感覚器系			解剖学 P148~158 生理学 P250~276			
第13回	運動器系			解剖学 P160~316			
第14回	運動器系			解剖学 P160~316			
第15回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
nakane@nihonisen.ac.jp							